

性に関する指導 新聞 第2号

今年度、学校運営ビジョンに掲げている「性に関する指導」に関する学習の様子をご紹介します。

第2号は、各学部の学習の様子をご紹介します。小学部では、5年生が「保健」の時間として、「男女の体の違い」「プライベートゾーン」について学習しました。5学年の教員による授業と養護教諭の専門性を活かした授業がありました。中学部や高等部の授業では、大型モニターを使ってイラストや学習内容を分かりやすく伝えたり、高等部ではタブレットを使って自分の考えに近い方法を探したりとICTを活用しながら学習をすすめました。

どの学部も、児童生徒の興味・関心にあった教材を使用したり、子どもたちが楽しんで操作しながら学習に取り組むことができるような工夫をしたりしています。ぜひ、第2号もご覧ください。

【小学部5年生】「プライベートゾーン」「男の子のからだ、女の子のからだ ～体の変化～」

「からだについてろう」という学習の中で、プライベートゾーンとは、水着で隠れる部分とロガが当てはまること、嫌なことをされたら「やめて」と言ったり知っている大人に相談したりすることを学習しました。また、体や心の成長があり、胸や体つきなどに成長が表れてくること、女性には月経があることや手当ての方法などについて学習しました。

すでに自分自身の成長に戸惑っていた児童は、学習を通して成長の理由が分かったことで、安心してその成長を受け入れる姿が見られました。

また、4学年の教員とどのような内容から指導すると良いか情報交換をするなど、系統的な指導に努めています。



養護教諭による授業



ひげが生えるよ！



胸がふくらむよ！



実際に手当てをしました！

【中学部1・2・3年生】「体の発育・発達 ～思春期の心と体の変化～」

中学部の保健体育科で、「体の発育・発達」の単元について学習しました。この学習では、思春期になると心と体が急速に変化していくことや、異性との適切な関わり方について知ること、学習したことを日常生活に生かすことを目標に取り組みました。

今回の学習は性に関する学習ということもあり、男女で分かれて学習を行いました。体の変化についての学習では、イラストを用いながら男女の体の違いや思春期の急速な体の発達・発育について説明をすると、「私と同じだ。」「全然違う。」といった言葉が多く聞こえました。異性との適切な関わり方についての学習では、異性がされたら嫌だと感じる場面について具体例をもとに説明をすると、「自分がされても嫌。」や、「からかうこともダメだよ。」など、適切な距離感や関わり方について友達や教師と意見を交わす場面も見られました。最後の振り返りの場面では、「大人に近づいているね。」「学校や外でも気を付ける。」などといった言葉が出てきて、思春期の心と体の変化についての考えを深めることができました。



【高等部3年生】「ストレスの対処 ～心と体のコントロール～」

高等部3年生 保健体育科の学習の紹介です。この学習では、心と体が密接に関係していることやストレスが身体に及ぼす影響、自分にあったストレス解消方法を知ること、日常生活に生かすことを目標に取り組みました。

授業では、タブレットを使ってストレスの解消方法や間違ったストレス解消方法などを検索したり、調べた方法を発表したりしました。学習後は、気持ちを落ち着かせるために一人で過ごしたり、運動をしたりしてストレスを解消する姿が見られました。また、進路や現場実習等で不安なことがあると、教師に言葉で伝えたり、相談したりして不安を解消する姿も見られ、学んだことを日常生活に生かすことができました。

